磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料　二行五錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

論壇

本能的競爭心

橫山武三

自己の防禦し保護するために相手と爭ひ、或は自己の感情を仰損した相手に對しその排除を試み、若しくは自己保存のために競爭者を排斥する際などに働く所の、即ち爭ふとする天性の爭闘心を爭闘本能と名づけやう、他の者と拮抗し、勝たう負けまいとする本能の傾向は實に人間の全生命ではなからうか。

◇

兒童はその慾望を妨げる者に對して、爭闘に依つてこれを挫か又はそれよりも他のよい方法で勢力を費して相手に打ち勝たうと努めるか何れかの一つを採るのである、世の中が文明になれば文明になる程各自がその世に生活してゆく上にははげしい競爭が起つて來る

◇

殊に十歳前後の兒童は權勢慾がつよく主我的で、狩獵本能が盛んなため是等が爭闘本能と複合して、他人を自己の意志の支配下に入れやうとし、若しこれに反しやうとする時には言語を以て脅喝し又は腕力に訴へて征服しやうとするそのために喧嘩が盛んに行はれる一般に格闘を生ずる刺戟は次の四種ある。

◇

一、兒童の父母又は家庭の誹謗又は侮蔑
二、過度にいぢめられ又はからかはれる事
三、兒童の自己の能力又は成功に對する誇りに侮蔑を加へられること
四、友達の不正直又は欺瞞

等は主なるものであらう、女兒に於ては男兒の如くに腕力に訴へるやうな事は少くないが、然し口舌がその最もすぐれた所謂武器となり、毒々しい言語を發し或は不親切な言を發するものが多い、これは女兒は男兒よりも感情的で物事に動じやすい關係であらう

◇

原始人は常にあぶない環境におかれたにも拘らず、その自己防禦の能力は貧弱であつた、而してこれらの強相手に對して唯一の積極的手段はその腕力の強く發達し進化することであつた斯かる腕力の發達および進化は不斷の闘爭によつて遂げられたことは明瞭な事實である。

◇

爭闘は最初の種族史においてしば〳〵用ひられた必要な行動形式であつたので、それが遺傳によつて今日の人類においてまで存續されてゐるのである、されば男女の爭闘本能は吾人類間根本的側面の遺物であらう。

平町田町
高久病院
電話五一三番

平文藝界の展望

松本純一

最近の平文藝界は混沌たる變律を帶び乍ら著るしい發展を遂行しつゝある、其運動志向なり消長率に關しては現在平に文藝陣を營む『無軌道』『詩南車』『表現人』『しづく』の諸誌を管見してこそ容易に知悉される譯である。

勿論此の四顆の果實が平の文藝樹によつて培はれたとは言へ郷土的たる考慮のカテゴリイに扮飾を裝らす肉体を未だ持たない、のみならず其各々の內的價値が存在理由を拒否する文藝誌の簇出は自然憂慮すべき結果を育むに相違ないからである。

×

『路傍詩』の史的血脈を立派に贖ひ乍ら會社的運動に全生命を享けてゐる『無軌道』は尠くも其一番ラジカル。アクションに富んだ雜誌である、三野混沌氏の絕對的な貢迫力が一貫した十民意識の醱酵を具象化してゐることが何によりの强味である、然し乍ら現在の粗雜なる統一性の把握が『無軌道』の今後を左右する過程であり得ない、故に市場的利潤を斷然放擲して（勿論經濟的根據の確立を無視するのではないが平の社會的接觸面が以上の經濟感念に狹義を挾む場合を參酌しての論斷である）純粹なるプロレトカル・フロントを基準として所謂『無軌道』の使命を完全に提唱して欲しい。

×

純文藝を資力として內潜的行動をなしつゝあるものに『詩南車』と『表現人』がある、前者は片寄耽二氏が至極コンベンショナルな手腕で若い文藝愛好家を唆つてゐるが主要なる目的意識の制限に或不滿足を感じる、それだけ機械的材料に豊かであり利害關係に巧みな觀念の行使を會得してゐる、無論恐ろしい魅力ではあらうが此際甲乙のいづれかを選ぶことは『詩南車』の生命延長を助長する唯一の破殼的進展ではなからうか後者の『表現人』は馬場卯一郎氏が多少反動的な見地から高踏的現象を純文藝へ移動化してゐるが、敢へて『表現人』に方向轉換を望みたいのは生活に浸潤されつゝ閑却され勝ちな一局部の官能組織の合理を裏書したいからである。

×

『しづく』は確實な責任者を持たぬので責任ある論斷もなし得ないが女性文藝誌として注目できる、なにしろ責任の證左がないことは『しづく』を手にする者を怯懦せしめるから非常な不利的立場を考へさせられると思ふ、以上の立脚點から『しづく』が責任表示を基調して女性特有の文藝上のユニックを表現せんことを確信する、大体平文藝誌の涉獵を終つた譯だが斯うした現狀の動きか近き將來に於て最近齎らせる磐城文藝協會の社會的進出と共に力強い反響の裡に郷土文化の重大な任務を初めてなし得るものと自任されることは燎原の火を睹るより明白な一つの事實であり文藝の生活化を達成せしめる人格構成上の源泉なければならない。

（完）

明日の吉凶

舊曆五月十七日　新曆七月四日

▲一白　心區々に岐るゝさきは忙しきのみに功薄し▲二黑　坂に車を推すの心をたゆまずんば幸福むくゆ▲三碧　脫線を愼み爭に倦むことなくば吉日となる▲四綠　汗より生れ來る效果の初めて現るゝ福德日▲五黄　福分はあれども散慢なる行ひを生じ易き日▲六白　氣をはげまし奮闘すれば人の援助も加はるべし▲七赤　吉運の日なれども一歩を誤れば波瀾を生ず▲八白　騎虎の勢ひにはしらば不測の難を招致すべし▲九紫　聲の大なる割合には實入りの存外少き日

講談

闇に閃く男達

(130)　高田涙川作　尾崎雪鷹畫

大石の腹の中

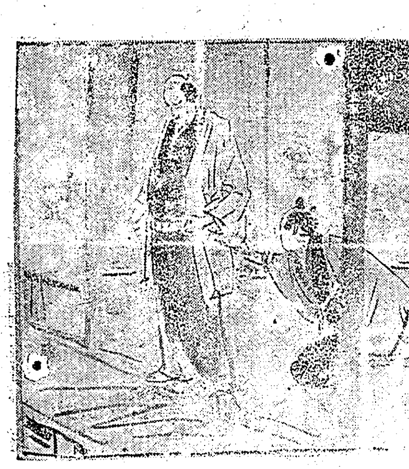
大石は相變らず空吹く風と受け流してゐる

「アハ……それはその方何と思ふて左樣なことを申すか知らねどよ　物を考へて見よかりにも拙者が仇討をする存念があるにもせよ、相手は當時將軍家の覺え目出度き高家ノ筆頭かつ上杉家と云ふ大藩の後見ありたとへ百二百の同勢ありとも將軍御膝元に於て仇敵はとうてい出來るものではない。まして赤穗退散以來一家中はチリ〳〵バラ〳〵既に他家に仕官するもの又は弓矢を捨てゝ風流韻事に入り或は町家に暮す者などあり今更仇討などとは思ひもよらぬ、故に斯く安樂に浮世を送る方法をとりをる者いかにもその方の父飯島左門と云へる者多少世話せしこともあるも、これも內藏之助世にありし時のこと今では世を忘れし世捨人恩返しなど受る身にあらず然しその方の厚意だけは有難く受納いたす」

「それではどうあつても仇討の御心は御座いませんか」

「いかにも以ての外のことである」

「それでは伺ひますが赤穗御退散の砌り御菩提所華岳寺でお詠みになりました和歌の意は何と御座いますか」



金五郎はゑらいことを持ち出した

「何、華岳寺で和歌……その方は妙なことを申すな、元來この內藏之助は下手なから文筆を好むため、どこでなりとも氣が向けばベタ〳〵書きつける、そこで何を書いたかナカ〳〵覺えてをらぬ、金五郎とやらそんなことを今更詮議立てをしたところで何の役にも立つことでなし、呑みつゞけた二日醉どれ休息をしよう、縁あれば又面會することもあらう」

そのまゝ立つて奧へ行かんとす、金五郎は大石の本心は決して放つてはないと信じてゐるからその眞意をたしかめずば物足りぬ、今大石にこの場を去られては又いつ會へるかも知れぬから今立たんとした大石の袖を控へた

「アイヤ殿樣、久らくお待ち下さい華岳寺、參詣の砌り住職の居間にかけありしせみの軸を御覽になり讃を遊ばした（濁り江の濁りに魚はひそむともやはかはせみのとらでたくべき）の意味を伺ひたう御座います」

「エーーツ……」

と大石もちよいと顏色を變へたが直ぐに氣をとりなほし

「アハ……それはいかにも拙者が筆をとつた、併しそれは別にむつかしい意味はない、詠んで字の通り、かはせみが必ず魚をとると云ふことを詠んだばかりぢやそれがどうしたか左樣な無益な問答重ねて無用、早々引取るがよい」

大石は云ひ放つてそのまゝ奧へ入つてしまふ

「もし殿樣もう一度……」

と云つたがもう間に合はなかつた、仕方なく玄關に下り吉右エ門に挨拶して表へ出た

「大石樣の本心はナカ〳〵わからぬ、かはせみの歌の際ちよいと顏色を變へしはもしかと思ふふしもないではないが、どうして〳〵わつち如き者に明かされぬと見ゆる、何にしても敵は江戶にゐる、こといづれ又江戶へお下りになることもあらうし、何かの機會で御恩を返す折もあらうわつちの心の中だけなりと大石樣がれ吸みとり下れば十分である」

と自問自答し山科を立つて伏見に出でこゝで男を賣りをる正宗吉松とて滊風長吉と兄弟分なる者を訪ね、大石の動靜を探り江戸へ知らしてくれるよう頼み置き江戸へ歸つて來た。

廣告

心配ゴ無用！
ドンナに悪性頑固な慢性淋病も本邦の強烈な殺菌力で尿道の奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺し　ウミも痛みもケロリと治療す　今すぐ御服用を……
淋病最新藥
トリックス
輕症用一圓・二圓
重症用三圓・五圓・十圓（十二圓入）
（説明書三錢郵券封入贈呈す）
平町五丁目角
特約店　山野邊藥局

平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
電話浪花三五一番
振替東京三二四〇番
糸界の羅針盤　糸紐通報　御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方は磐城新聞社御出で下さい。委細面談

ツルヤ洋品店の
夏の子供服陳列會
イタツラ着　三十錢より
ボイル服　一圓四十錢より
富士絹服　二圓より
御自由御覧になられる様店内に陳列致しました。
特に御勉め品霜降通學服
大特價提供!!
一號　一圓拾錢
二號　一圓
三號　九拾錢
平町四丁目
ツルヤ

ホシ胃腸藥
胃腸氣痛藥
ホシ胃腸藥
星製藥
호시위장약

御料理
平新田町
吉柳

▼『ラヂオ』の御用なら▲
平停車場前高野自轉車店ラヂオ部へ御用命を願ひます
◎三球式（附屬品一際付キ）
A　金百拾圓也
B　金八拾五圓也
C　金七拾圓也
◎一球式
A　蓄電池
B　乾電池　レシバー付
金參拾參圓也
部分品、ラヂオ製作、取付工事其他
高野自轉車店ラヂオ部
電話三二六番
仙臺放送局指定加入申込取扱所

ツ三益玉炭の御奬め
○ツの玉炭は三井物産株式會社が多年研究の結果發明した木炭代用の高級燃料です
○ツ玉炭の特長
第一　無煙無臭で取扱ひ頗る便利です
第二、火付がよく、火力が強く、しかも値段は木炭の三分の一で間に合ひますから一度御使ひになればどんなに便利でどんなに安いか直ぐわかります
◎値段は一箱金貳圓（玉炭ノ個數約八百個）
◎見本品御入用の御方は御申出下さい無料で差上ます
平驛前
ツ阿部石炭商店
電話二三七番

醸造元　石城小名濱町
清世界　吉　清水屋
銘酒
各炭鑛御用達
小野晋平
電話六番

診療開始
外科
花柳病科　專門
木村外科醫院
平町六丁目橋際（元〇久材木店跡）
電話三〇九番
入院自炊ノ便アリ

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を經營は大塚肉店故原料豊富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフヱー幸樂
平町六丁目電五（三九番）

工費十三萬圓で
豊間の漁港修築
縣費の補助を受くべく地元民が
猛運動を起す

石城郡豊間濱では大敗網の漁業權より得た組合の積み立金が四萬圓に達したのでこれを基本金として漁港修築運動を起してゐたところ預金先の磐城銀行休業により**前途を悲**觀されてゐたが引續き縣に築港促進の運動をおこす事となり志賀村長、遠藤漁業組合長等近く出縣明年度より三ケ年の繼續事業として起工したいから縣費三分の一を補助せらるゝようにと陳情することになつた漁港修**築費は約**十三萬圓で鹽屋﨑燈臺下まで防波堤を延長港内に發動機漁船廿隻まで安全に避難入港し得るよう設備する計劃で同時に共同魚揚場を新設濱の發展をはかる計劃であると

營業取締所
設置運動
石城郡の當業者
近く猛烈に開始

る當業者から重寶がられてゐる營業取締支所建設につき石城郡内有志は極力運動をなすべく更に協議をすゝめつゝあるが石城郡は養蠶の年收三百萬圓を數へ指導機關として養蠶同業組合あるのみで縣の施設なく痛切にその必要を感じられてゐるが郡務所には元郡役所の一部を借り受けこれに充てるべく近々中に縣に對して猛烈に運動を開始することになつた

平局の特設電話申込
たつた十五口
價格が下落しブロカー尻込む
財界不況の影響

平郵便局本年度特別電話架設申込みは既報の如く去る六月五日から開始し來る五日を以て締切る筈であるが一日までの申込數は僅十五口で前年に比し申込み激減傾向にあるがこれは一般的財界不況によることは勿論で磐炭の休業による**各方面へ**の影響も直接原因とみられてゐるが申込み激減の大なる理由は大正十五年度から電話規則の改正によつて架設後一定期間をへずとも名儀變更賣買が出來ることとなつたため一時千圓臺を往來してゐた電話價格は急に下落し昨年四月ごろには七百圓臺となつてゐるので昨年の如き必要以外のものが當籤の僥倖を見越して申込み架設費を賣買價格との開きを儲けやうと申込んだものが多かつたところ意外にも買手が少く持てあましの狀態で今年の如き**開きを儲**けやうとするものの申込みがないためにかく激減を見た模樣で架設數の割當の如きも前年より幾分增加するではなからうと見られてゐる

噴火口
馬鹿氣な
臨海學校と
林間教授

◇學校の夏休みがくる。よい林間學校とかゞやるんだらう今時の學校の先生は何か人樣の目に附くやうな事をしない出世が出來ないと見えて色々やる中には人道外れる事までして免職となるのさへあるから林間學校などは月並なものだらう

◇平のある人は云つた、都會地でも平あたりで林間學校の必要がない。態々日光のさす樹の下に行つて汗をかきながら書物を讀んだつて何になる、それよりも海口の涼しい所に寢そべつて氣儘に復習でもした方がよい、賞め者になり度い先生の犧牲になるのが夏の小學生徒だといふのであつたこれには一理がある、况んや村落の學校でこれをやる[illegible]の恐に於ておやだ

◇小學校の生徒も休みの時はウンと遊ばせたらよからう、大人だつてそうである、働くのか遊ぶのか譯の判らぬ奴は貧乏する、それと同樣子供に惡い習慣性を植込む事は考へものだ

◇それに最近は海だ山だと遠走りがはやる、これも惡い事ではないが親の身も考へてくれなくてはこまる結局は金なのである、子供を納得さして海や山に行かないとすると、戻つて來た後は矢張仲間外れにされるより外にあるまい、これも妙な根性を造るものである

◇學校の先生も考へたものである、縣廳あたりの發えのよい樣に自分も面白く休みを過ごすために行動をする、父兄の事などは考へて呉れないと愚痴をこぼしたくなる

◇吾々農村のものは吾々の子弟を都會並に扱つて欲しいのではない、吾々の子弟として敎へて頂度いのである鄕に入らば鄕に從つて敎育だ

◇百姓村の生徒は蠶休みもあるほどに子供乍家庭の手傳けになる、夏休みと雖もその氣でゐる、刻苦精勵の大精神は此處から生れるのである、徒らに遊ぶ事をのみ奬めて貰ひ度くない。

平理髮業
徒弟慰安會
廿五日小名濱で

平警察署管內理髮營業組合では本月二十五日小名濱において徒弟慰安會を開催して平素の勤勞をねぎらう事となつたが尙當日は各營業者の徒弟中から永年勤續して品性正しく技術優秀模範とするに足るべき徒弟を選び表彰する筈である

取締所落成
双葉郡　久之濱町の營業取締所は支所に昇格すると共に工費金四千圓を以て增築工事中のところこの程竣工本月下旬昇格並に落成祝賀式を擧行すると

平小鐵道 小名商港 問題は
全力を擧げて努力すると
昨夜歡迎會の席上で
加勢知事語る

本郡地方初巡視の爲め昨二日來平した加勢知事一行は既報の如く平警察署外在平各官公署磐中磐女の兩縣立校等を視察午後六時から谷口樓に於いて催された平町主催の平町官民合同の歡迎會に臨んだが伏見平町長の歡迎の辭に對し同知事は謝辭と併せて次の如く述ぶる所あつた

「宮崎縣知事として在任中同縣は最も蔬菜の栽培に適して居りながら比較的蔬菜の栽培に無關心である事を發見致しました京阪地方に於ける蔬菜の消費は年に一億萬圓を下る事がない然も此れは殆んど他縣からの輸入に依つてゐる狀態で其の當時宮崎縣からは毎年百萬圓程度の輸出を致して居りましたが私は此れを一千萬圓輸出までに向上せしめたいと考へまして盛んに速成野菜の栽培と研究獎勵致しました結果今日では初期の目的であつた一千萬圓輸出に漸次近付こうとしてゐる狀態であります更らに前任地の高知縣は水產物が一年千七八百萬圓を數へて居りましたが私は此れを五ケ年計劃で一年六千萬圓までに進展せしめたいと八方奔走各[illegible]水產組合等の續出した結果此れまた今日では相當の成績を上げて居ります然るに當縣は養蠶業、農業、漁業其の各れもが相當の成績を上げてゐるやうでありますが今後改良研究すべき點は多々あるものと想はれ更に一段の努力を期待致します、目下全國的に財界が不況で本縣殊に石城郡下の如きは最も財界の不安を痛感して居るでせうが此れなぞも一層の自重に依つては速に舊に復する事も出來得るものもあり目前本縣の二大問題たる平小鐵道速成小名商港問題等に對しましては私は全力を上げ地方民の福利國富の增進には及ばずと雖も努力致す考へですから何分の援助をお願したい」云々

尙同知事は今三日午前九時から四倉漁業四倉警察署豊間村回春園、江名、小名の漁港等を視察小名濱に一泊した

ゴシップ集

×

日活の河部五郎…或る日鰻と梅干を喰ふ、喰つてから昔からの言ひ傳へで命にさはると驚いて多見太郎の家に行つて「どうしやうか」と相談した結果醫者の家に飛び込んだが醫者は別に診察もせず粉藥を一服呉れたきり、死ぬ程のこともなく今更河部、騷いだのが可笑しくてたまらず翌日撮影所で多見太郎に合つたので「昨日は飛んだ失禮を…」と言へば多見太郎「身体に別狀はなかつたかい」と鰻の總本家のやうな顏をして居るので河部思はず吹き出し乍ら「いや…お蔭樣で…」

×

これは日活の瀧花久子さんの結婚談…最近フアンから「結婚してお目出度う」とかいろ／＼結婚に關する手紙が來るので御當人カン／＼に憤慨、男の人は嫌ひよ、これからは誰が賴んだつて京極なんか歩いてやらないし話なんかしないわ」と恐ろしい勢ひで異性に對して宣戰布告、口の惡いのへン、何時まで續くことやら」だと

長二郎の呼物
「岩見重太郎」
近く撮影に着手

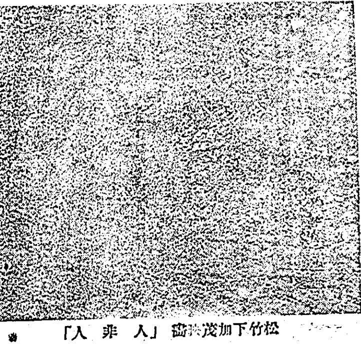
松竹下加茂の林長二郎は「人非人」がいよ／＼完成するので直ちに次回作品として原作脚色谷原忠の「岩見重太郎」を監督小石榮一撮影杉山公平で製作を開始すると。

オリムピツク。ニユース
下旬田日商店に入荷

ドイツ・ウフア社が獨占撮影した万國オリムピツク競技のニユースが六月下旬田日商店に入荷する是れは獨の映畫專門のアーノルド・フアンク、シユネー・ベルガー兩氏が製作した本年正月スイッツのサン・モーリツで行はれたウインター・スポーツ篇及び目下催されて居る陸上競技中馬術篇迄のものであるがウインター・スポーツ篇には美人舞踊家リナ・リーフエンスタール孃の素晴らしいアイスヷアレー等も收められて居る夏に應しい大映畫である。

二代目長三郎が
マキノに出現

マキノに居た嵐長三郎獨立して寛壽郎と改名し賣り込んだ長三郎の名前はマキノで保留中であつたが今度川浪良太監督その他が紹介して入社した某スターが二代目嵐長三郎を襲名することになつた果して誰が長三郎になつたか主演映畫を見て下さい。


松竹下加茂映畫「人非人」

石城に稲熱病發生
今年こそと安堵したも束の間に
小名地方農民狼狽

石城郡地方の田植は今日この頃大体終了したが降雨量が多く天候不順なので植付後の成績は豫想したほどでなく農民に落膽の色が見えて來たが郡内一般に稲熱病が發生し稲苗が枯死して行くので大狼狽をなし郡農會に依賴し徹底的驅除豫防を講じてゐるが殊に小名濱方部が甚だしく同方部は例年水不足で苦しめられ今年こそはそんな心配もなく無事植え付を終つたと思[illegible]したも束の間また／＼[illegible]の稲苗病に農民の落[illegible]常なもので折角植ゑ[illegible]の病氣にかゝつたも[illegible]部引拔き植直しをや[illegible]る有樣で稲苗不良で[illegible]た大狼狽を來たし農[illegible]狀は察するに餘りある

救世軍講演會
新任小隊長歡迎會で

救世軍平小隊では新任小隊長河原中尉及同副官森田少尉を迎へて一日午後七時平小隊集合所[illegible]公會の歡迎を開き更に二日同時刻から青年兵士の歡迎會を開いたが三日は一般兵士の歡迎會を開催の筈で新任小隊長及副官から同小隊の發展策に關する講演と挨拶を兼ねた兵士に對する希望等の講演があると

入所勸誘の
宣傳行軍
昨日平青年
訓練所生が

平青年訓練所では出所生の少きをため各幹部が焦慮してこれが出所生の多數ならしむべく努めて來たが漸くこの程に至り訓練所幹部の熱誠に動かされた佐々木[illegible]合長が組合員徒弟中[illegible]を出所せしむべく應[illegible]業者を訪問してその[illegible]着手し徐々にその承[illegible]つゝあるので遠か[illegible]餘名の出所生を得る[illegible]るので訓練所幹部も[illegible]に對し少からぬ感謝の意を表してゐるが尙さる一日の訓練所勅令發布二週年記念日に行ふ筈なりし出所生勸誘の宣傳行軍は當日が雨天だつたので二日午前七時平商業校庭に集合して八時から訓練生及町役場吏員青年團軍人分會訓練所幹部等參加し左記の如き印刷物を配布して訓練所趣旨普及の行軍を試めた

青年訓練所の目標は

一、身体を鍛練し規律節制を重んじ剛健質實の氣風を養成するにあり

二、職所に必須なる智能を授け實際化て産業能率の増進を圖るにあり

三、社會意識國家觀念を明かにし自覺せる公民國民の養成にあり

米屋の小僧が
菜切庖丁で割腹
家出したのを主人に詰問され
生命は助かる

內郷村大字新町米穀商遠藤米藏方雇人荻生田末永（二八）は數日前無斷で主家を飛出し行方を晦ましたので主人米藏は末永の行方を八方探し廻つた末四倉の知人宅に隱れてゐたのを發見昨二日末永を自宅に連れもどつた上家出の不心得を諭したが同夜午後九時頃末永は家人の隙を覗つて臺所に至り菜切庖丁を以つて下腹部に突立て自殺を企つたが死切れず苦悶してゐるのを家人が發見直ちに附近醫院に擔ぎ込んで應急加療中だが生命に別狀ないらしく原因に不審な點があるので平署刑事は目下原因の調査を進めてゐる

冷藏庫に秘めらるゝ
季節外れの珍味
消費者にも利便多い
水產工業の冷凍事業

磐城水產工業會社の冷凍部業は昨今の如き豐漁期に際し漁獲物を充分に貯藏して市價の高低緩急に應ずる事が出來るので同社の營業科目中最も有利な事業と目せられてゐると同時に一般需要者にとつてもその利便少からず大いに將來を囑目されてゐるが同社における今年度の凉冷計劃を聞くに

ぶり一萬五千尾、鯛五千貫、鯖九千尾二千二百五十貫、鰹五千七百六十尾旗魚三百尾千八百貫、柔魚二萬四千尾、秋刀魚四萬八千尾、鯨肉委托一萬七千二百貫

で前記種類中には既に豫定數量に近き貯藏をしたものもあり今後貯藏魚の藏出しによつて一般消費者は季節外れの珍味に舌をうつ事が出來るわけである、因に該魚類はぶり一萬五千尾を一本一圓位に購入しこれを二圓五十錢位づゝに賣却するの豫定でこの利益的約二萬二千五百圓と註せられてその他鯛、鰹等にあつては同樣の割合で消費者の利便もさる事ながらその間同社の利益も鮮少ならず

新版、文福茶釜
毎朝九時頃異樣にうなる
平町の古着屋怪談

夏にふさわしい怪談夜話一席、平町字北目一二〇に一人佗住まへをしてゐる小滿仁助（六五）は數ケ月前古物屋から三升たきの釜を求め最初は何の變つたこともなかつたところ四五日前から午前九時になると異樣のうなりを釜から發するので**不審と思**ひその儘にして置いたところその後毎日のやうに而も丁度九時頃になると飛行機のプロペラーのやうな音響を發するので薄氣味惡くなり早速この旨を隣近所に話たので口さがない町童から噂はパッと全町に擴がりこの正体を見届けんと物好きな連中は午前九時頃ドシ／＼空家に押し寄せる等の騷ぎに平署でも捨て置けず一日高橋巡査が實施臨檢に向つたところ今日は待てど暮せど一向にうなりを出さないので氣拔けの態でかへつたが一向**正體をつ**きとめることが出來ぬので噂は更に噂を生んで物情騷然人騷がせな釜もあればあるもんだ警察でも持てあましの態

平管內の
在米高
五萬五千俵
未曾有の增加

穀物檢査所平支部管內石城郡における七月一日現在の在米高五萬四千百六十九石で中地主手持米三千七百三十石自作農手持米二萬六千八十七石、小作農持米五千九百六十三石、商人持米は內地米六千八百四十九石、朝鮮米五百九十五石、臺灣米六百五十石、外米三百九十五石で前年同期に比し一萬三千二百四十石の激增を示し平支所創立以來の在米高にてこれが原因は地主階級は價格餘りに低いため賣惜みまた商人は米價安も最早低値と觀測し買進んだ結果であると

死刑か
無罪か
五人殺事件
本日公判

內郷村大字白水の一家五人殺犯人鈴木治八郎（五〇）に對する控訴公判は既報の如く今三日午後一時から宮城控訴院に於いて開廷したが疑問の怪事件として知られてゐるだけに本日の公判は各方面から非常に注目されてをり殊に東北帝大の石川博士が鑑定したる治八郎の衣類に附着してゐた血痕鑑定の結果に依つて治八郎は死刑か無罪かに決定する爲め同博士の本公判に於ける鑑定結果の發表は頗る重大視されてゐる

妥協案で
纏るか
第三校敷地
五日に決定

平町第三小學校新築敷地紛擾はます／＼深刻化し熾烈となり來つたので町當局町會に於てもこの爭奪戰の渦中に捲込まれ重大なる敎育問題を等閑に附すやうな結果になつては大變だと杞憂し、この際兩自の妥協案を出して圓滿なる解決を見んとの傾向があり町會議員中には調印を求め妥協案の成立に奔走しつゝあるが此の妥協案は立町には十二學級の小學校を建設し、更に南町には將來二十四學級の小學校を新設するといふ案で既に內々協議を試みた結果七名の贊成署もあり、此妥協案は幾分修正をなして決定を見るのではあるまいかとみられてゐる

通信
宇都宮より
小野生

◎坂本兄足下　その後病魔は如何です、實は一度親しく病床を訪れてお見舞をして見たいと考へて居るが東奔西走、席暖まる暇たになく、無性の本能を發揮して相濟みません、然し心からは離れないで快復を祈つて居る點に就ては人後に落ちぬつもりである。

◎坂本兄足下　宇都宮は本縣內務部長であつた、牛井清氏の赴任した縣廳の所在地である、一日の餘暇を偸むで官舍に尋ねて見た、官舍　ボロな點に於ても本縣と相伯仲して居る程度のものである、福島縣から轉任しては餘り高き聲では批判は出來ぬが左遷だらうと氣の毒に思つた。

◎坂本兄足下　宇都宮市の住民は東京に近いだけ人情が薄いだらうと思つたのであるが、實はその想像は裏切られ其親切味の濃かな點に於て一籌を輸した、それを指道の問ひに試めし其親切味に感心した、此點から云ふと牛井氏の轉任は尤も意義あるが如く觀察した

◎坂本兄足下　牛井氏は吾輩の爲めに晝食をオゴつて呉た、勿論洋食であつた最近新築に成る公會堂、物產陳列場、食堂を兼ね洋館內西洋軒に於てであつた、氏は小名濱商港問題に對しての實現に一大努力を出して奔走された恩人である事によつて吾町會は氏に紀念品を贈つた關係に在る、されど玆に來ての馳走は恐縮した

◎坂本兄足下　宇都宮の仕事も終了し仙臺に立寄り歸宅の豫定である、サラバ自愛の上一日も早く快復されむ事を。

文藝原稿募集
△創作、戲曲、詩、和歌、俳句其の他文藝作品を募集す

規　定
十二字詰三百行以內

磐城新聞社